令和6年度 第1回雄武町地域公共交通活性化協議会 議事概要

1 開会 ～ 事務局長（大水公共交通対策室長）

定刻となりましたので、只今から「令和6年度第1回雄武町地域公共交通活性化協議会」を開催いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきまして大変ありがとうございます。まず、本日の出席人数でございますが、委員24人中20人ということで、過半数に達しておりますので、本会議が成立することを報告いたします。

なお、会議に入る前に連絡事項が2点ございます。

まず1点目ですが、本協議会の会長につきましては、当協議会条例第5条第1項の規定に基づきまして「副町長をもって充てる」とされておりますが、本年4月1日以降、副町長が空席となっております。この場合についてであります。同条例第5条第3項において「副会長は、会長が欠けたときは、その職務を代理する」とされていることから、本日の会議につきましては、三浦健一副会長が会長代理となって招集し、会務を総理することとなりますので、ご了承くださいませようお願いいたします。

次に2点目であります。本年4月1日付け、官公庁関係の人事異動によりまして委員の変更がございましたので、ご紹介いたします。私のほうで職名と氏名を読み上げますので、ご起立の上、一礼いただければと存じます。

※新たに委員となった6名、起立し一礼

ありがとうございました。

それでは、会議次第に基づきまして進めてまいります。

会議次第の「2. 挨拶」でございます。よろしくお願いいたします。

2 会長あいさつ ～ 三浦副会長（自治会連合会）

副会長の三浦でございます。本日は皆さんそれぞれお仕事をお持ちで大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。先ほど事務局からお話があったとおり、本来会長であります「副町長」が「空席」という状況でございます。従いまして、協議会のルールにのっとり、私が会長の代理を務めさせていただきますので、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

昨年10月に当協議会が発足いたしまして、昨年度は2回の協議会を開催し、本日は令和6年度、最初の協議会でございます。ご承知のとおり、人口減少やマイカーの普及等によって、地域の交通事業者を取り巻く情勢は、非常に厳しい状況下に置かれております。また、高齢者の免許返納に関しましては、運転に自信がなくなっても、マイカー以外に移動手段が

ないことから、なかなか手放せないといった実情もあるようでございまして、こういった状況を少しでも改善していくためにも、本協議会が果たす役割は非常に大きいものがあると考えております。

本日は、報告事項2件、協議事項3件の議事となっております。皆様方にはスムーズな議事進行と、提案事項等に対しましては遠慮なくご意見等を賜りますよう、ご協力をお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

3 議事

報告事項

(1) **雄武町地域公共交通活性化協議会庶務規程の一部改正について**

配布資料（資料1）に基づき、事務局（小俣対策係長）から説明

質疑応答～質疑なし 報告事項(1)～承認

(2) **令和5年度経過報告について**

配布資料（資料2）に基づき、事務局長（大水公共交通対策室長）から説明

質疑応答～質疑なし 報告事項(2)～承認

協議事項

(1) **令和6年度事業計画（案）について**

配布資料（資料3）に基づき、事務局長（大水公共交通対策室長）から説明

質疑応答～質疑なし 協議事項(1)～承認

(2) **令和6年度収支予算（案）について**

配布資料（資料4）に基づき、事務局（小俣対策係長）から説明

質疑応答～質疑なし 協議事項(2)～承認

(3) **雄武町地域公共交通計画に係る計画方針（案）について**

【配布資料（資料5）に基づき、事務局長（大水公共交通対策室長）から説明】

まず基本理念であります、「誰もが安心して、自由に、便利に移動できる、次世代へ躍進する地域公共交通の実現」という記載がございますけれども、「誰もが安心して」というのは、子どもからお年寄りまで、外国人も含めた全町民が安心してという意味合

いでありまして、次に、「自由に、便利に移動できる」というのは、現状において課題のある町民の移動、公共交通の利便性を、より便利なものにしていきたいと思います、そして、「次世代へ躍進する地域公共交通の実現」というのは、新たな施策を検討・構築して、それを実際に実現していきたいと思います、という思いをこめたスローガンとして、これらをまとめて、基本理念として掲げたものでございます。

次に基本方針案でありますけれども、計画の期間は令和 7 年度から 11 年度までの 5 年としまして、基本方針につきましては 3 部構成としております。

- ・基本方針 1 については「誰もが便利に快適に移動できる町内交通の実現」
- ・基本方針 2 については「公共交通を利用して移動できる広域交通の維持確保」
- ・基本方針 3 については「持続可能な次世代へつなげる公共交通の確保」

としています。これら基本方針にぶら下がる施策については、11 項目、設定してございます。

順番に説明していきますと、①新しい交通「雄武町コミュニティバスの導入」であります、過去のアンケートや懇談会等を実施した結果、町民の皆さんが今一番必要としているものではないかと思っております。現状においても、宗谷さん・北紋さんに路線バスを運行いただいておりますけれども、どうしても空白の時間帯がございますので、時間帯の重複は避けた中で、あくまで路線バスを補完する形での運行を考えてございます。また運行形態ですけれども、町内交通事業者、具体的に申し上げますと、現在、患者輸送バスの運行を委託しております、第一ハイヤーさんへの委託運行を最優先として検討しているところでございます。別の言い方をしますと、「患者輸送バス」の運行を取りやめて、利用目的が自由で便利な「コミュニティバス」への転換を図ろうという内容でございます。

②の「公共交通空白地地帯を補完する移動支援の充実」であります、中身的には、コミュニティバス路線から離れている特に農家地区になりますけれども、こういった地区に対する支援を手厚くしていく必要があるのではないかと考えております。手法・手段につきましては、まずは、事務局段階としましては「ハイヤー助成券事業」の拡充を検討しているところでございます。

③と④につきましては、既存交通資源の維持改善ということで、保育所バスや、スクールバス、福祉バス、生涯学習バス等の委託運行を継続しながら、より効果的・効率的な運行の研究に努めて、例えば車両入れ替えの際には車両サイズの適正化を図るなどの対策を講じていきたいと考えております。

⑤の「夜間の経済活動の活性化を支える新たな交通への挑戦」という部分では、現状においては、第一ハイヤーさんが夜 12 時まで営業されているということでありますけれども、今後、もしも台数が不足するような状況等が生じれば、自家用有償旅客運送で

あるとか日本版のライドシェアといった仕組みの導入も可能でありますので、これに関しては、地域のニーズ、今後の状況に応じてということになります。調査検討を行って、チャレンジしていく姿勢をもつことも重要であると認識しているところでございます。

次に基本方針の2では、⑥の路線バス利用促進につなげるインセンティブ施策の創設、これの中身につきましては、路線バスの町内区間の運賃を町民に限って無料化して、できるだけ路線バスを利用してもらいましょう、といった施策であります。現状として、雄武－幌内、雄武－沢木間については、片道500円程度の運賃がかかりますが、これを町が全額助成するといった仕組みであります。具体的な助成方法等については、バス会社さんと中身を詰めていきたいと考えておりますけれども、この施策につきましては、先行して隣町の枝幸町さんと宗谷バスさんとの間で協定を結んで取り組まれておりますので、色々参考とさせていただきながら、本町としても制度化を図っていければと考えているところでございます。

⑦バス路線維持のための運行経費補助と、⑧紋別空港の運賃助成制度につきましては、これまで同様に継続し、本計画にも位置付けて取り組んでまいります。

それから基本方針3では、⑨の町民の外出機会を支える交通事業者の運転手確保のための担い手対策につきましては、全国的にどの業界もそうですけれども担い手不足ということが叫ばれておまして、町内の交通事業者においても深刻な課題であると同っております。「担い手の不足＝サービスの低下」ということが懸念されますので、どういった対策が良いのか、交通事業者さんから色々ご意見を伺いながら、具体的な施策を盛り込んでいければと思っております。

⑩町民に向けた利用促進、⑪技能実習生等外国人に向けた利用促進策につきましては、やはり実際に利用してもらうことが一番重要でありますし、また、地域の活性化や経済循環にもつながってまいりますので、情報発信であるとかバスの乗り方教室など、こういったソフト面での取り組みにも力を入れていきたいと考えてございます。

以上が、基本理念と基本方針案でございます。

【為国アドバイザーから補足説明】

目標値の利用者数、収支率、公的資金投入額は国が定めている指標であるが、目標値で重要と考えているのは利用者数である。

施策⑤について、飲食業組合などと連携を図り、曜日運行などできることからやってみたいと考えている。日の出岬の宿泊者利用も視野に入れており、町の活性化につながる施策としたい。

【質疑】

委員「施策⑨の町民の外出機会を支える交通事業者の運転手確保のための担い手対策は、具体的にどのようなことをするのか。」

大水事務局長「今後、交通事業者と協議していくこととなるが、現状で考えられるものとして、2種免許の取得費用の助成などを考えている。」

【意見】

委員「退職自衛官の再雇用の事例をテレビで見たことがあり、雄武町も退職自衛官の運転手雇用の可能性を考えてほしい。」

委員「最近の若い人は運転したがる。運転体験などの取り組みは必要なのかもしれない」

【情報提供】

為国アドバイザー「オホーツク総合振興局では管内で交通事業者が集まり、就職説明会を実施している。本州の事例ではハローワークと連携して就職説明会を開催している事例もある。」

阿部委員（オホーツク総合振興局）「6月に北見運転免許試験場にてバス会社の就職説明会や大型車の運転体験を実施した。東京では仕事確保を見据えた移住説明会なども開催する予定である。」

協議事項(3)～承認

4 その他 ～ 事務局長（公共交通対策室長）

それでは会議次第の「4. その他」でございますが、委員の皆様からご意見、その他情報提供等を含めてお伺いするところですが、本日、運輸支局の戸谷さんが出席されておりますので、戸谷さんの方から情報提供ということでよろしくお願いします。

※戸谷委員（北見運輸支局）から配布資料「ライドシェアをめぐる最近の情勢について」について説明

ありがとうございます。また、前回の会議で、社会福祉協議会の方で福祉有償運送の登録申請ということで、今年4月からの運行を計画しているという状況だったかと思いますが、実際の運行状況・利用状況がどうなっているか、もし差し支えなければ佐々木委員のほうからコメントいただければと思います。

佐々木委員（社会福祉協議会）「福祉有償運送事業の状況報告ですが、実質利用者数は 4 月 8 名、5 月 9 名、6 月 10 名と徐々に増えています。延べ利用回数は 4 月 27 回、5 月 64 回、6 月 47 回、平均 40 回/月程度となっています。利用者は認知があまり進んでいない方の利用が多い傾向となっています。」

為国アドバイザー「現在の登録者数は？」

佐々木委員（社会福祉協議会）「27名となっています。」

ありがとうございました。続いて、路線バス会社さんのほうから、ダイヤ改正等のご予定等がございましたら、これも差し支えのない範囲で情報提供いただければと思います。

神委員（北紋バス株式会社）「2024年問題も踏まえて、10月1日からダイヤ改正を行う予定です。現行の雄武線の18時台を減便し、19時台増便します。この改正によって、紋別高校で部活動をする学生の利便性の向上が図られます。また、雄武町到着後は、ドライバーが雄武町内で宿泊し、翌日の一便に備えるシフトとなる予定です。（バスは道の駅付近に駐車）」

ありがとうございました。そのほか各委員の皆様から何かございますでしょうか。ないようですので、以上をもちまして令和6年度第1回協議会を閉じたいと思います。

5 閉会 ～ 事務局長（大水公共交通対策室長）

次回は先ほどスケジュールでお示したとおり10月の開催を予定してございます。内容的にも計画案の協議に入ってくるということで具体的な内容となってまいりますので、引き続きのご協力をお願い申し上げまして、本日の会議を閉じさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。